



発行：令和2年2月
編集：第20期広報部門

オクトス湘南茅ヶ崎自治会たより

オクトス湘南茅ヶ崎自治会 2019年度 第3回会報



毎年恒例のオクトス合同防災訓練を開催

管理組合・自治会・自主防災組織によるオクトス合同防災訓練が令和元年11月30日（土）午前9時から管理棟横のタイルデッキにて行われました。参加された住民の方はご協力ありがとうございました。

訓練内容は以下の通りです。

1. インターホーンによる緊急地震速報とともに、避難ステッカーの掲示訓練を実施。住民の49%が掲示。確認作業は自治会の役員（班長）がしました。



2. 停電時の水道水停止を想定。受水槽の水をエンジンポンプでヴィスタヒルの15階まで汲み上げ、参加者15人が各階で20リットルタンクに受水をする訓練を行いました。準備から起動そして手順の指導（上の階が終わったらすぐ下の階のコックを開けるルール）は主に自主防災組織のメンバーによるものでした。

3. オクトスの防災器具の展示、説明。
①照明設備②油圧ジャッキ③チェーンソー④レスキューセット⑤非常用階段避難車（歩行困難者のための特別仕様車椅子）⑥携帯電話等の充電用発電機など
4. 家庭内で準備すべき防災備品を展示、説明。
5. 自主防災組織の女性メンバーを中心に大釜でぜんざいを作り、参加者全員でいただき、冷えた体を温めました、皆さまお疲れ様でした。



●村松自治会長のコメント

今回は「災害時の飲料水供給」を防災訓練として行いました。しかし、実際には災害が発生した4日目を以降に行います。一番大切なことは、住民の皆さんが各家庭で、最低3日分の飲料水（一人1日3～4リットル×家族人数×3日）を普段から準備しておくことです。よろしくお祈りいたします。

ひまわり会「地元のお話を伺う」

1月23日（木）の午後、ひまわり会（オクトスのシニア会）では、地元の方をお招きして、とても貴重なお話を伺うことができました。21名の参加でした。お招きしたのは、元下赤羽根自治会長の安齋さんと茅ヶ崎市文化財保護委員の岡崎さん。底冷えのする雨降りの日でしたが、メンバーの大塚さんが作ってくれた「お餅いり善哉」で、招待者の方と共に、まずはほっこり温まりました。安齋さんは昭和21年生れ。赤羽根生まれの赤羽根育ち。

今オクトスになっているあたりは格好の自然豊かな遊び場で、渴いた喉を「湧き水」でうるおしたことや、最近駐車場になった「300ゴルフ場」の入り口付近は、かつて小山で、周辺とは異なりそこだけが白っぽく、その色合いがとても印象的であったことなど、幼少時代の懐かしいお話しをしてくださいました。岡崎さんは昭和10年生れ。南湖生まれ南湖育ちで、現在は堤にお住まいです。大変な健脚で、今日も雨の中を歩いていらっしゃいました。

お話しは茅ヶ崎の地形のことから始まりました。海から北に向かって砂丘列が8つあり、その主なものが「大山道」と「東海道」。そして、海岸付近にはかつて大きな砂山があって、現在、図書館や美術館、そしてカトリック教会などが在る「高砂（たかすな）通り」の地名はそこからきているようです。



オクトスの南、大山道の面影



田村通大山道入り口、四谷不動尊と鳥居。（藤沢市四谷）

「甘沼」という地名の由来は、現在の「八幡神社前」バス停の北側あたりに、かつては甘草（かんそう）の取れる大きな沼があったことから。お隣の「高田」のように、お米はあまりできなかったそうです。オクトス前の小出県道は大正時代からの切通しで、それ以前は「上野山」という高台が殿山公園の方から東方面に続いていましたから、北部の小出方面へ行く際は玉林寺の脇の急坂からさらに山の上を通っていかねばなりませんでした。

また、オクトスの建物ができる前にはかつて修道院があったことはよく知られていますが、戦前はドイツから来た修道士が、戦後はカナダから来た修道女が自足自給の生活をしていて、牛や羊も飼っていました。ここでとれた牛乳を缶に詰め、自転車の両側に付けて平塚のメーカーまで運んでいた男性もいたそうです。そのほか、神社のことなど興味深いお話しが続き予定の時間があっというまに過ぎてしまいました。

オクトスひまわり会メンバー 村松

2019 オクトスクリスマスコンサート

毎年恒例のオクトスクリスマスコンサートがオクトスステーション1階にて開催され多くの住民の方が女性コーラスを楽しみました。

- 指揮:大森知恵子 ●女声合唱:ユース松林
- 演奏曲 1.ひいらぎかざろう 2.サンタが街にやってくる
3.「なみだうた」より 4.ホールニューワールド
5.ジッパディードゥーダ 6.ユビラーテ 7.おめでとうクリスマス



12月8日(日)17時30分開演、約1時間の演奏。観客は30名。オクトスのお住まいの方だけではなく、外部からの方もいらっしゃいました。6年前から続く女性コーラスのコンサートです。毎年清々しい歌声に魅了されます。

オクトス住民のボランティアにより引き継がれています。今回も、10月中旬から大森先生との日程調整をしました。

前は10名の編成から今年は7人編成となりましたが、とても力のある歌声でした。特に、アンコールでも演奏された「ユビラーテ」は素晴らしかったと思います。

また、途中で「夕焼け小焼け」をお客さま全員と一緒に歌いました。



演奏終了時には、演奏者7人の方たちと大森先生、応援にいらした先生(お名前は?)のお一人お一人にバラの花一輪をプレゼントしました。お手伝いしてくれたのは、お母さんと一緒に一番前にいたソラア(空亜)さん。オクトスに住む小学校1年生の女の子です。はにかみながらも、しっかり役目を果たしてくれました。ソラアさんにもピンクのバラの花一輪をプレゼントしました。「おうちに帰ってすぐに花瓶に生けたよ。」と翌日、本人が教えてくれました。ユース松林は5月23日(土)、茅ヶ崎市市民文化会館でコンサートを行います。是非、お越しください。

お世話係の村松より

●今後の自治会活動予定表

月日	行事内容	場所
3月8日(日)	新役員顔合せ・役割決定会	オクステ2階
4月19日(日)	自治会定期総会	オクステ1階

第4回「朗読の集い」

昨年の6月からスタートしたオクトス住民ボランティアによる「朗読の集い」が静かな人気で1月26日(日)午後1時半から第4回目がオクトスステーション1階談話室で開催されました。



いつもはこんな感じ。

いつもは10名前後の参加者とのことだが、雪が降りそうな寒さのためかこの日は6人が集まった。

しかし皆さん元気がいい。最初は滑舌練習から開始「あ、え、い…」から「生麦、生米、生卵」までたっぷり「舌」の調子を整える。

声を出すことで心身のパワーが引き出され、有酸素を体内に取り込むことになり身体の血行がよくなり活力が生まれるという。また、顔の筋肉(表情筋)を動かしてあげることで、顔の表情もよくなり若返るそうで、道理で皆さん元気がよく美しいわけである。

次は20年近い朗読経験を持つボランティアの朗読が始まるが雰囲気ガラッと変わり、読み手が醸し出す短編の世界にぐっと引き込まれる。

しかしながら朗読というと静かな雰囲気の中で若干緊張する集いと思ったが合間に世間話、近所の噂話に花が咲き、和気あいあいの女子会になって盛り上がっている。

それもそのはず「舌」の動きは絶好調である。

なんとなく小学校の国語の時間を思い出し、懐かしい。ぜひ一度のぞいてみてください。



まずは滑舌練習から

ご存知ですか、自治会ホームページ。

オクトス湘南茅ヶ崎自治会HPが一部リニューアルされてトピックスページが新設されました。これからも「自治会たより」とともにHPでも自治会からの行事予定・報告、住民の皆さまの身近な生活情報発信に努めますのでよろしくお願い致します。

オクトス湘南茅ヶ崎自治会

